

赤坂の集合住宅『akasaka895』

akasaka895

2017年2月竣工予定 東京都港区

事業主/個人
設計・監理/谷内田章夫ワークショップ一級建築士事務所
施工/藤木工務店



南東側夕景

設計主旨

既存の地下躯体を利用し、また約3.1mある道路の高低差も利用し、高さ10m以下で地上4階地下2階の居住空間をつくった計画である。

赤坂は、銀座、東京、上野、池袋、新宿、渋谷という東京の有数の繁華街に取り巻か

れ、そのほぼ中心に位置する。徳川家に近い有力大名や旗本などの屋敷を配置して江戸城の守りを固めた場所である。坂の上には現在も赤坂御所があり、戦後は国会議事堂や霞が関に近く高級な繁華街として栄えた。さらに芸能・放送関係者が多く集まった。とても賑やかで華やかな街だが、明治以降

は軍人や政財界人、文化人が住んだお屋敷街であったため、少し裏に入ると静けさに包まれる。ニューヨークやパリなど西欧の都市では中心部にこのような静かな住宅地は存在しない。そこで利便性の高いこの場所で、アクティブに暮らす居住者のための静寂な空間をつくった。

共に傾斜のある南と東に道路で囲まれた高台に建つ、地下を含め6層の住居である。南側道路の斜面からアプローチする。正面にガラス張りの光庭がある。階段室の空間を、鉄板のオブジェを乱立し、ステアケースをアーティスティックな空間に変換させた。



上/東側ファサード 中/エントランスアプローチ 下/光庭